



令和7年12月5日

広報資料

海氷情報センターの開所について

第一管区海上保安本部では、オホーツク海をはじめ北海道周辺海域の海氷が存在する海域を航行する船舶の海難事故を防止するため、12月19日（金）に、今季の「海氷情報センター」（センター所長：第一管区海上保安本部次長 安達 貴弘）を開所します。

海氷情報センターは、昭和45年の設置から今年で56回目の開所となります。

当センターでは、航空機や巡視船艇及び各海上保安部署による海氷観測のほか、協力機関から情報を収集、集約し、海氷速報及び航行警報等で海氷の分布状況等の情報提供を行います。

■ 情報提供関連 Web サイト

海氷情報センターホームページ

URL <https://www.1.kaiho.mlit.go.jp/KAN1/1center.html>

海洋状況表示システム（海しる）

URL <https://www.msi.go.jp/msi/htm/topwindow.html>



海氷情報センター

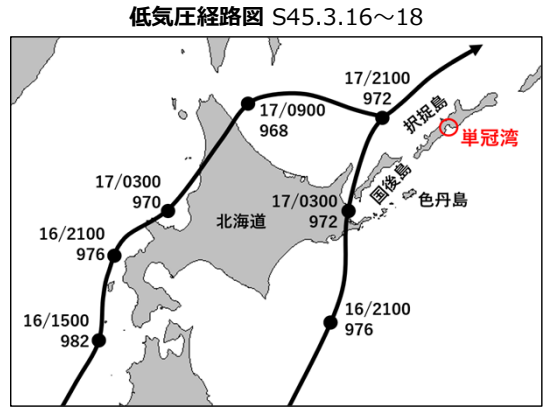
ICE INFORMATION CENTER, Japan

第一管区海上保安本部では、昭和45年（1970年）3月に発生した大規模な海氷による漁船海難を契機として、海氷による船舶等の海難を防止するために、同年から毎年冬期間「海氷情報センター」を設置して、収集した海氷観測情報を分析・整理し、海氷観測に関する関係機関との連絡調整を行い、海氷に関する様々な情報を毎日インターネット等で提供しています。（開設期間：12月下旬～翌年4月末頃）

■契機となった海氷海難

択捉島南方で操業中の沖合底引漁船（19隻）が、発達した低気圧による大時化を避けるため、択捉島単冠湾に錨泊し、内1隻は強風のため走錨圧流され陸岸に乗り上げ大破しました。

太平洋に南下していた流氷群は低気圧の接近に伴う強い東南東の風により、択捉島南岸に吹き寄せられ、大時化の中で圧着集積して3~4ノットの異常な速度で単冠湾（ひとかっぱわん）に流入し錨泊中の漁船18隻のうち、海氷による損傷及び強風による船上への流氷の打ち込み等により2隻は転覆、3隻は沈没、2隻は曳航救助されました。大破した漁船を含め8隻の漁船乗組員114名の内、30名が死亡または行方不明となりました。



■海氷情報の収集と提供

巡視船艇及び航空機による観測



釧路海上保安部 巡視船「そうや」



千歳航空基地「おおわし」



釧路航空基地「しまふくろう」

陸上観測



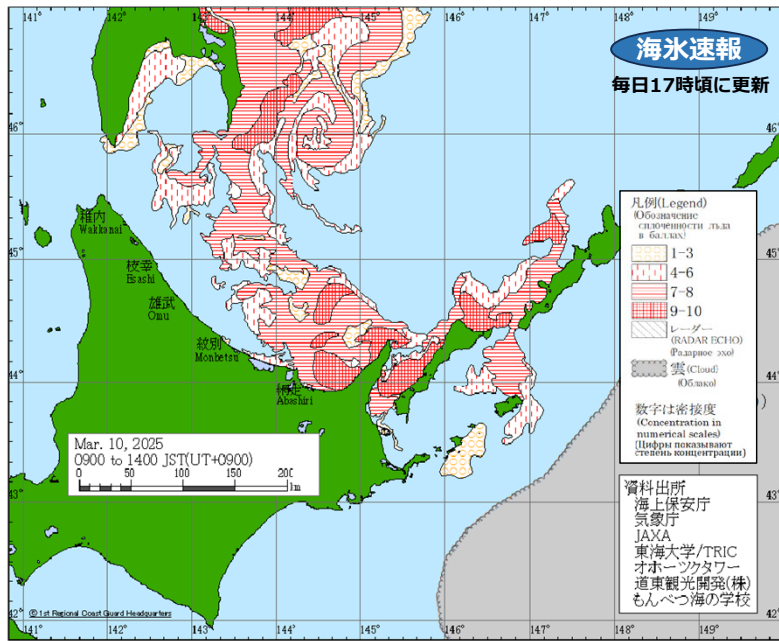
オホーツクタワー(紋別)



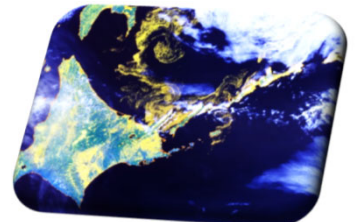
北方館(納沙布岬)



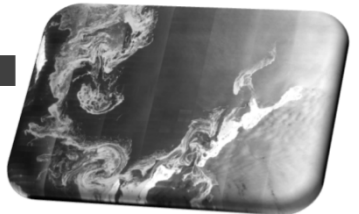
海上保安部署



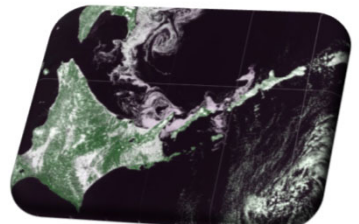
人工衛星画像



しきさい



だいち2号



Aqua (アクア)

提供方法

- ・海氷情報センター（Webサイト）
- ・海しる（Webサイト）
- ・航行警報（無線放送、Webサイト）
- ・AIS（船舶自動識別装置）メッセージ
- ・海の安全情報（Webサイト、登録メール）



海氷情報センター



海しる

第一管区海上保安本部が実施する海氷観測

1. 航空機による海氷観測

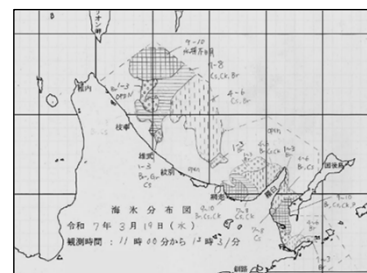
- (1) 観測海域：オホーツク海南西海域など
- (2) 観測時期：12月～翌年4月
- (3) 観測概要：① 海氷域を飛行する航空機による目視観測（随時）
② 千歳航空基地所属固定翼機に当本部職員が同乗し目視観測及び写真撮影（随時）



観測中の航空機



観測中の職員



目視観測（スケッチ）図

2. 巡視船艇による海氷観測

- (1) 観測海域：オホーツク海南西海域など
- (2) 観測時期：1月～翌年4月
- (3) 観測概要：① 海氷域を航行する巡視船艇による目視観測（随時）
② 巡視船「そうや」に同乗し、搭載航空機による目視観測及び写真撮影、流向流速計による流況調査、水温塩分計による調査（2月頃）



観測中の巡視船「そうや」



搭載航空機



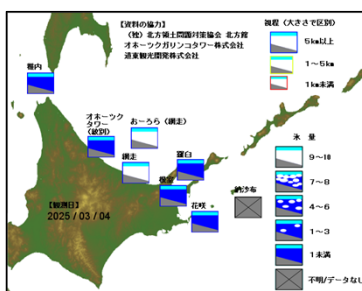
流況調査

3. 海上保安部署等による海氷観測

- (1) 観測場所：稚内、網走、羅臼、根室、花咲
- (2) 観測時期：12月～翌年4月
- (3) 観測概要：各保安部署等から目視観測（原則毎日午前中）



部署等からの目視観測



部署等からの観測結果（Web掲載）